

平成21年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機 関 名	宇都宮大学
団 体 等 名	『NPOとちぎ生涯学習研究会』
学生代表者氏名 (所属・学年)	村上滯生 宇都宮大学農学部農業経済学科1年
責任教職員氏名	藤井 佐知子教授

1. 事業名	緑を育てるための学生交流会
2. 実施時期	2009年12月12日 16時から19時
3. 実施場所	宇都宮大学 大会館内食堂
4. 事業の内容等	<p>宇都宮大学にて12月12日に第5回緑を育てるための学生交流会を開催いたしました。</p> <p>第一部「環境問題に関する講演会」では、宇都宮大学の進村武男学長をはじめ、栃木県環境森林部地球温暖化対策課環境学習・保全担当 河俣雅久様、宇都宮市環境部長 津田昌利様、社団法人栃木県造園建設業協会会長高梨道太郎様をお招きして環境問題に対して、植樹活動や栃木という自然に多く恵まれながらも負の遺産とも言われる足尾地区にスポットを当て話して頂きました。</p> <p>第二部では親睦会を通し、大学の枠を越えて親睦を深めることができました。</p> <p>活動実施状況は NPO とちぎ生涯学習研究会の母体である NPO 法人とちぎ生涯学習研究会 HP に記載してあります。 (http://www.geocities.jp/npo_lsst/supporter.htm)</p>
5. 事業の成果と今後の課題	<p>主に栃木県内 20 高等教育機関の学生を対象として、各大学に周知活動を行い、宇都宮大学、自治医科大学、帝京大学、独協医科大学の学生に参加していただきました。インフルエンザが懸念され、周知活動ができない大学もありましたが、50名を超える学生に参加していただきました。</p> <p>第二部の親睦会の中で、他大学で地域貢献活動を行っている学生と、彼らの今後の展望や私たちの展望などを話し合ったり、違った視点で物事をみて地域貢献活動をしている情報交換をしたり、とても有意義な時間を過ごすことができました。彼らとは今後も協力関係を築いていきたいと思えます。また、環境問題に興味がない学生ともコミュニケーションを通し、身近に環境問題を感じてもらうことができました。</p> <p>今回の交流会の成果として、環境保護活動の意識の向上とともに、親睦会中に取り入れたエコゲームにより団体ではなく個人単位で具体的に何ができるかということを考え、実践するきっかけ作りができた、参加者の声から感じております。</p> <p>今後も、より多くの学生と集いお互いを高めあえるような場所を作り続けるため、活動を継続したいと思います。</p>